

最終教育機関としての大学の体育が 生涯スポーツに及ぼす影響 —集団雰囲気在学习意欲に及ぼす影響の検証を通して—

木 本 泰 洋

大学への進学率が41%に到達し、生涯スポーツの一環として、高等教育機関の体育のあり方に注目していく必要がある。最終教育機関としての大学の体育を生涯スポーツにつなげていくために、大学体育に何が求められるのかについて検討する必要があるものと考え。そこで、体育授業の現状を明らかにするとともに、生涯に渡りスポーツに親しむ資質や能力を大学体育でどのように培っていくことができるのかについて、授業終了後に学生にアンケート調査を実施し、授業雰囲気尺度と学習意欲尺度の観点から、考究した。

授業雰囲気尺度の平均点の推移をみると、全体的に右上がりになっていることから、授業環境において良い雰囲気になっていったと言える。

学習意欲尺度の平均点の推移をみると、積極性因子得点が、4.4前後と高い値を保持していることから高い学習意欲があり、客観性因子得点では、学期の後半に右上がりになっていることから学習意欲が授業回数を重ねる度に向上している。

授業雰囲気と学習意欲との関係では、成功する雰囲気が積極性の学習意欲に影響を与えていることから、できるという雰囲気のもとでは、学習意欲に積極性を増す傾向にあると言える。

雰囲気調査に用いたGA (group atmosphere) 尺度は企業用に用いられ、学習意欲調査に用いたものは小学校、中学校、高等学校用に用いられたものを本研究に使用し、ある一定の結果を導き出すことができたが、大学の授業用の雰囲気測定や学習意欲測定を研究していく必要がある。

キーワード：集団雰囲気 (GA) 尺度、学習意欲、授業、生涯スポーツ

I. 目的

体育科における課題として、①運動する子どもとそうでない子どもの二極化、②子どもの体力の低下傾向が依然深刻、③運動への関心や自ら運動する意欲、各種の運動の楽しさや喜び、その基礎となる運動の技能や知識など、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の育成が十分に図られていない例も見られること、④学習体験のないまま領域を選択しているのではないかとこの点が挙げられる。(中央教育審議会「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善について」2008)

2008年に改訂された学習指導要領において、体育科改善の基本方針として、指導内容の体系化を図り、小学校から高校までの12年間を発達段階のまとまりに分けて考慮されている。具体

的には、小学1年生から4年生までを「さまざまな基本的な動きを身につける時期」、小学5年生から中学2年生までを「多くの領域の運動を体験する時期」、中学3年生から高校3年生までを「少なくとも一つの運動を選び、継続することができるようにする時期」とし、それら発達段階のまとまりを考慮し、内容の系統化を図るというものである小学校から高校までの12年間の（保健）体育の授業を通じ、生涯スポーツ社会の形成者を育むという明確な方向性が指示されたものと考えられる。

他方で、高校を卒業してからの進学率状況をみると、大学・短期大学・高等専門学校・専門学校への進学率が70%を超えている。また、大学への進学率のみに目を向けてみると41%に到達している。（文部科学省「学校基本調査」）

生涯スポーツの一環として、高等教育機関への進学率が向上している現状から高等教育機関の体育のあり方にも注目していく必要がある。最終教育機関としての大学の体育を生涯スポーツにつなげていくために、大学体育に何が求められるのかについて検討する必要があるものと考ええる。

大学体育に関する先行研究をみると、文部科学省が導入している新体力テストを通して、受講学生の体力・運動能力に関する研究（池辺 2010）、トランポリン運動を教材に学生の身体状況を通して、受講学生の身体知の獲得に関する研究（福地 2010）、「できないこと」はどのようにして「できること」に変化するのかをカスケード・ジャグリンを通して、個別の運動能力の獲得過程を明らかにした研究（田中、小河原 2010）、先行研究及び授業実践を通して、大学体育の役割や可能性に関する研究（荒牧 2010）、「体育理論」と「バレーボールにおける運動技能」を通して、生涯スポーツに対して知識・能力がどのように形成するに関する研究（水月、笠井、西田、柿原、則元、2009）、大学体育におけるキャリアプランニングの実践に関する研究（三木、三波 2010）、さらには、教育実習の事前・事後指導を通して、より好ましい附属校との連携に関する研究（宮崎 2010）などがある。

大学体育が生涯スポーツに資する能力の育成がどのように機能するかという本研究の目的に近い研究としては、学体育が日常の身体活動量およびメンタルヘルスに及ぼす影響を明らかにした研究（山津、堀内 2010）、および、長期的な感情または運動セルフ・エフィカシーが、大学体育授業における運動の継続と心理学的恩恵にもたらす影響に関する研究（荒井 2010）をあげることができる。両研究とも大学体育が卒業後の行動に一定の影響をもたらす可能性を示唆する研究ではあるものの、運動の楽しさや大学体育のクラスの雰囲気に関心を当てたものではない。

小学校生、中学校生を対象に体育授業の雰囲気について研究が多数されているが、大学生を対象にされていないこと、また、授業雰囲気の構造変化を追究し、授業雰囲気がどのように学習意欲に影響を与えるかを解明した結果に本研究の独自性が保持されるものと考ええる。

そこで、本研究では、①体育授業の現状を集団雰囲気と学習意欲の観点から明らかにするとともに、②生涯に渡りスポーツに親しむ資質や能力を大学体育でどのように培っていくことができるのかについて考究していくこととする。

II. 方法

1. 調査対象：教育学部大学生（男子学生 19名、女子学生 21名）
2. 調査内容：第2回から第14回まで、毎回アンケート調査を実施した。
3. 授業内容

(1) 授業期日：(2009年9月18日～2010年1月8日)

(2) 場 所：大阪府S大学

(3) 授業概要

①授業区分（選択）

②種目選択の過程：「サッカー」「卓球」「生涯スポーツ」の内、本研究において「生涯スポーツ」選択した学生を対象とした。

③授業目的：各々の能力を駆使し、他の学生と旨くコミュニケーションをとり、上手にゲームを展開していけることを目的とする。

④授業の流れ

第02講義 ドッジボール

第03講義 ドッジボールとバレーボール

第04講義 鬼ごっことドロケン

第05講義 タッチラグビー

第06講義 タッチラグビー

第07講義 サッカー

第08講義 バレーとバスケットボール

第09講義 サッカー

第10講義 ソフトボール

第11講義 バレーボールとバスケットボール

第12講義 バレーボールとバスケットボール

第13講義 バレーボール

第14講義 バレーボール

(4) 調査方法

授業終了後に学生にアンケート調査を実施した。

4. 調査項目

(1) 授業の雰囲気

雰囲気は、組織内でのリーダーシップと状況好意性についてFiedler（1967）がコンテンジェンシー理論を実証した際に使用した「集団雰囲気（GA）尺度」（野中郁次郎、加賀野忠男、小松陽一、奥村昭博、坂下明宣「組織現象の理論と測定」、千倉書房、1978）を改良した。集団雰囲気（GA）尺度は10項目8尺度で測定することができる。しかし、企業用に作成され、抽象的な表現であったため、学校における授業用に転用できるように、10項目を授業に用いられる言葉に変換し、8点尺度を5点尺度に変更した。

集団雰囲気 (GA) 尺度

友好的		——		——		——		——		——		——		——		——		——		非友好的
受容的		——		——		——		——		——		——		——		——		——		拒絶的
満足させる		——		——		——		——		——		——		——		——		——		挫折させる
熱烈な		——		——		——		——		——		——		——		——		——		熱のない
生産的な		——		——		——		——		——		——		——		——		——		非生産的
暖かい		——		——		——		——		——		——		——		——		——		冷たい
協力的		——		——		——		——		——		——		——		——		——		非協力的
支持的		——		——		——		——		——		——		——		——		——		敵対的
面白い		——		——		——		——		——		——		——		——		——		退屈な
成功する		——		——		——		——		——		——		——		——		——		成功しない

図1-1

出典：千倉書房「組織現象の理論と測定」、1983、238 項

本研究に用いた授業雰囲気の調査項目

01. 授業は 友好的 な雰囲気である。	5	—	4	—	3	—	2	—	1	授業は 非友好的 な雰囲気である。
02. 授業は 受容的 な雰囲気である。	5	—	4	—	3	—	2	—	1	授業は 拒絶的 な雰囲気である。
03. 授業は 満足させる ような雰囲気である。	5	—	4	—	3	—	2	—	1	授業は 挫折させる ような雰囲気である。
04. 授業は 熱烈な 雰囲気である。	5	—	4	—	3	—	2	—	1	授業は 熱のない 雰囲気である。
05. 授業は 生産的な 雰囲気である。	5	—	4	—	3	—	2	—	1	授業は 非生産的 な雰囲気である。
06. 授業は 暖かい 雰囲気である。	5	—	4	—	3	—	2	—	1	授業は 冷たい 雰囲気である。
07. 授業は 協力的 な雰囲気である。	5	—	4	—	3	—	2	—	1	授業は 非協力的 な雰囲気である。
08. 授業は 支持的 な雰囲気である。	5	—	4	—	3	—	2	—	1	授業は 敵対的 な雰囲気である。
09. 授業は 面白い 雰囲気である。	5	—	4	—	3	—	2	—	1	授業は 退屈な 雰囲気である。
10. 授業は 成功する 雰囲気である。	5	—	4	—	3	—	2	—	1	授業は 成功しない 雰囲気である。

図1-2 本研究に用いた授業雰囲気の調査項目

(2) 学習意欲

西田の「体育における学習意欲検査（AMPET）の標準化に関する研究」（1988）では、56項目7因子（実際は64項目8因子）で調査されていた。この研究に基づいて先行研究では、毎時間ごとにアンケート調査を実施すること、また、アンケートに記入する時間と記入者の労力のことを考えた上で、7因子の因子負荷量が高い上位二つを取り上げ14項目のアンケート作成し

た。

SPSSの分析後、固有値1.881、累積寄与率64.422において、因子負荷量0.4以上の項目を取り上げた結果、2因子10項目が残った。

この10項目を今回の学習意欲の調査測定することにした。

Ⅲ. 結果

1. 授業における雰囲気

(1) 集団雰囲気 (GA) 尺度による授業雰囲気の推移

雰囲気尺度において各雰囲気別に推移を見てみた。

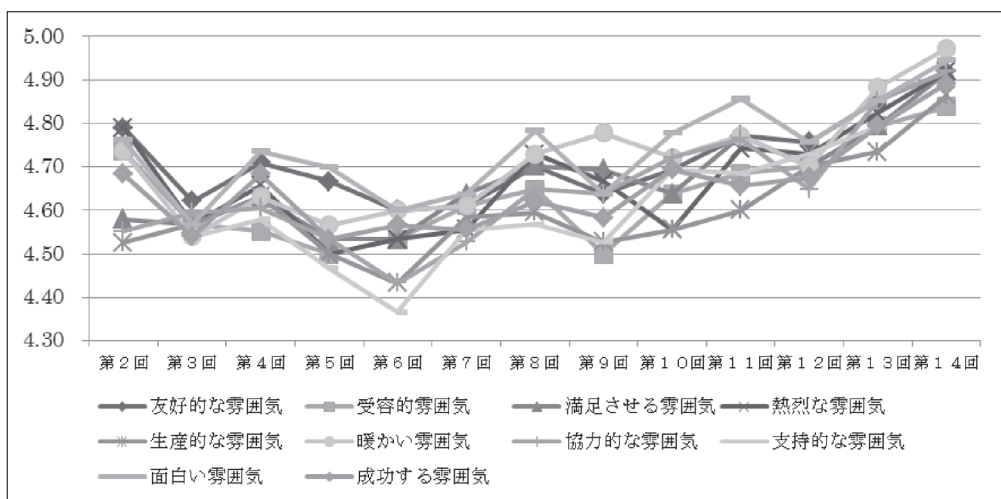


図2 雰囲気の変遷

友好的な雰囲気の変遷についてみると、第3日目（ドッジボールとバレーボール）、第9日目（サッカー）に友好的な雰囲気の平均値が低下したものの、おおよそ右上がりの結果となっている。

第3日目は、授業の前半は2回目のドッジボールと後半はバレーボールをおこなった。前回に続いてドッジボールだったので、ドッジボールをすることに学生は飽きてきて、お互いのコミュニケーション不足が生じたと思われる。このことが、友好的な雰囲気平均値が低下した要因の一つと考えられる。

第9日目は屋外で授業を行った。第9日目前後は、冬学期ということから室内で授業を展開していた。冬学期に履修した学生は、屋外で授業をするより室内で授業をすることを好んでいた。第9日目は、晴天だったことから屋外で授業をしたところ、学生が進んで授業に参加せず、お互いのコミュニケーション不足が生じたと思われる。このことが、友好的な雰囲気平均値が低下した要因の一つと考えられる。

受容的な雰囲気の変遷についてみると、第9日目（サッカー）に受容的な雰囲気平均

値が低下したものの、おおよそ右上がりの結果となっている。

受容的な雰囲気とは、自分を受け入れてくれる雰囲気の意味を指す。つまり、学生同士のコミュニケーションがとれている状況が必要である。しかし、友好的な雰囲気の第9日目と同様に、屋内で授業展開するより屋外で授業展開した方が、学生が進んで授業に参加せずにお互いを認め合い、仲間を受け入れることができなかったと思われる。このことが、受容的な雰囲気の平均値が低下した要因の一つと考えられる。

満足させる雰囲気の推移についてみると、あまり起伏がなく、おおよそ右上がりの結果となっている。

熱烈な雰囲気の推移についてみると、第5日目（タッチラグビー）及び、第10日目（ソフトボール）に熱烈的な雰囲気の平均値が低下したものの、おおよそ右上がりの結果となっている。第5日目は、今まであまり経験のないスポーツを体験したことが主な原因であると思われる。第4日目までは、高校卒業するまでに個人に違いがあるにしる経験したことのあつた競技だったのが、今まで経験したことのないことをしたことがない競技だった。

今まで経験した競技ならば競技のノウハウが分かっているので、勝負に集中することができる。しかし、経験のしたことのない競技は、ルールから学び始め、度々中断することがあつた。このことから、熱烈な雰囲気が生まれにくく、熱烈な雰囲気の平均値が低下した要因の一つと考えられる。

生産的な雰囲気の推移についてみると、第6日目（タッチラグビー）に生産的な雰囲気の平均値が低下したものの、おおよそ右上がりの結果となっている。

第6日目では、前回に引き続いて、2回目のタッチラグビーを題材に授業展開した。学生がタッチラグビーを試行錯誤しながら、受け身で授業に参加していたために、生産的な雰囲気の平均値が低下した要因の一つと考えられる。

暖かい雰囲気の推移についてみると、第3日目（ドッジボールとバレーボール）に暖かい雰囲気の平均値が低下したものの、おおよそ右上がりの結果となっている。

第3日目は、授業の前半は2回目のドッジボールと後半はバレーボールをおこなった。前回に続いてドッジボールだったので、ドッジボールをすることに学生は飽きてきて、お互いを思いやることがなくなつたと思われる。このことが、温かい雰囲気の平均値が低下した要因の一つと考えられる。

協力的な雰囲気の推移についてみると、第6日目（タッチラグビー）及び第12日目（バレーボールとバスケットボール）に協力的な雰囲気の平均値が低下したものの、おおよそ右上がりの結果となっている。

第6日目では、前回に引き続いて、2回目のタッチラグビーを題材に授業展開した。タッチラグビーが2回目であつて、個人プレーをおこなうには慣れてきたはいたものの、連携プレーをおこなうまでは、あまりうまくできていなかった。このことが、協力的な雰囲気の平均値が低下した要因の一つと考えられる。

第12日目では、バレーボールとバスケットボールを授業の題材にして2回目であつた。バスケットボールでは、バスケットボールを得意とする学生のワンマンプレーが目立っていた。こ

のことが、協力的な雰囲気の平均値が低下した要因の一つと考えられる。

支持的な雰囲気の推移についてみると、第6日目（タッチラグビー）及び第9日目（サッカー）に支持的な雰囲気の平均値が低下したものの、おおよそ右上がりの結果となっている。第6日目では、前回に引き続いて、2回目のタッチラグビーを題材に授業展開した。タッチラグビーが2回目であり、連携プレーがあまりうまくできなかった。連携プレーができなかった要因として、学生同士のフォローがうまくできなかったところにある。このことが、支援的な雰囲気の平均値が低下した要因の一つと考えられる。

第9日目は屋外で授業を行った。第9日目前後は、冬学期ということから室内で授業を展開していた。

冬学期に履修した学生は、屋外で授業をするより屋内で授業をすることを好んでいた。第9日目は、晴天だったことから屋外で授業をしたところ、学生が進んで授業に参加せず、お互いを認め合い、仲間を受け入れることができなかったと思われる。このことが、支持的な雰囲気

の平均値が低下した要因の一つと考えられる。

面白い雰囲気

の推移についてみると、おおよそ右上がりの結果となっている。

成功する雰囲気

の推移についてみると、おおよそ右上がりの結果となっている。

冬学期の時期に授業展開したため、授業の前半は屋外（グラウンド）において授業展開をし、後半は屋内（体育館）において授業を展開した。このため、学生にとって授業環境が変わることとなった。

このような授業環境の元で、雰囲気における下位尺度の推移を見てみると、第3日目と第6日目に雰囲気得点が低下したものの、ほぼ右上がりとなり雰囲気得点の向上が見られた。このことから、後期の授業を通して、雰囲気が高まったと言える。つまり、学生にとってスポーツがしやすい環境が形成されたことを指す。この雰囲気得点の向上傾向が続けば、大学を卒業し、生涯に渡りスポーツをする要因の一つとなるとと思われる。

(2) 学習者属性にみた雰囲気得点の比較

冬学期（13回）における「男子・女子」「あなたは運動することが好きですか」「あなたは体育授業が好きですか」「あなたは種目が好きですか」「あなたは種目が得意ですか」「あなたは部活に所属していますか」「私生活で運動することがありますか」「あなたは運動することが得意ですか」別の対応のないt検定及び、n数が少ないため、ノンパラメトリック法におけるマン・ホイットニー検定を施し、有意差があるものを記した。

①性別

3日目の生産的な雰囲気、4日目の満足させる雰囲気と生産的な雰囲気に、5日目の満足させる雰囲気と生産的な雰囲気に、6日目の友好的な雰囲気、受容的な雰囲気、満足させる雰囲気、生産的な雰囲気、成功する雰囲気に、7日目の友好的な雰囲気、受容的な雰囲気、満足させる雰囲気、生産的な雰囲気、暖かい雰囲気、支持的な雰囲気、面白い雰囲気、成功する雰囲気に、8日目の熱烈な雰囲気、生産的な雰囲気に、9日目の受容的な雰囲気、熱烈な雰囲気、

生産的な雰囲気、10日目の友好的な雰囲気、受容的な雰囲気、満足させる雰囲気、熱烈な雰囲気、暖かい雰囲気に、12日目の熱烈な雰囲気に、13日目の支持的な雰囲気に、男子の平均値が女子の平均値より高く、男女の間に有意差 ($p<0.05$) が認められた。

また、9日目の受容的な雰囲気、熱烈な雰囲気、生産的な雰囲気に、男子の平均値が女子の平均値より高く、男女の間に有意差 ($p<0.01$) が認められた。

ベイカンが男女の特徴を「男子は、『個人に関係し、自己維持、自己主張、自己拡大にある動作』に特徴とし、女子は、『個人を一成員とする組織に関係し、他者との接触や協力にある共同性』に特徴がある」(岡本夏木・清水御代明・村井潤一 (1995)「発達心理学辞典」ミネルヴァ書房)と説明している。

今回のt検定における性別においても、ベイカンが述べている男子の特徴である自己拡張が大きく現れたと思われる。このことが、男子の平均値が女子の平均値を上回る結果なったと考えられる。

表 1—1：雰囲気構造と性別

	雰囲気構造	自由度	平均値 (男子)	平均値 (女子)	t 値
3 日目	生産的な雰囲気	29.87	4.8235 (N= 17)	4.3158 (N= 19)	2.1141 *
4 日目	満足させる雰囲気	28.09	4.8500 (N= 20)	4.3889 (N= 18)	2.1603 *
4 日目	生産的な雰囲気	24.21	4.9000 (N= 20)	4.3333 (N= 18)	2.3999 *
5 日目	満足させる雰囲気	26.87	4.8333 (N= 12)	4.2941 (N= 17)	2.1515 *
5 日目	生産的な雰囲気	26.81	4.8333 (N= 12)	4.2353 (N= 17)	2.1723 *
6 日目	友好的な雰囲気	13.30	4.8824 (N= 17)	4.2500 (N= 12)	2.4075 *
6 日目	受容的な雰囲気	12.97	4.8824 (N= 17)	4.1667 (N= 12)	2.5348 *
6 日目	満足させる雰囲気	12.97	4.8824 (N= 17)	4.1667 (N= 12)	2.5348 *
6 日目	生産的な雰囲気	17.00	4.7647 (N= 17)	4.0833 (N= 12)	2.3214 *
6 日目	成功する雰囲気	13.30	4.8824 (N= 17)	4.2500 (N= 12)	2.4075 *
7 日目	友好的な雰囲気	17.90	4.8947 (N= 19)	4.2500 (N= 16)	2.6454 *
7 日目	受容的な雰囲気	20.26	4.8947 (N= 19)	4.2500 (N= 16)	2.3768 *
7 日目	満足させる雰囲気	20.84	4.8947 (N= 19)	4.3125 (N= 16)	2.2482 *
7 日目	生産的な雰囲気	22.12	4.8421 (N= 19)	4.2500 (N= 16)	2.2807 *
7 日目	暖かい雰囲気	17.90	4.8947 (N= 19)	4.2500 (N= 16)	2.6454 *
7 日目	支持的な雰囲気	21.46	4.8421 (N= 19)	4.1875 (N= 16)	2.4163 *
7 日目	面白い雰囲気	18.29	4.8947 (N= 19)	4.3125 (N= 16)	2.5317 *
7 日目	成功する雰囲気	21.46	4.8421 (N= 19)	4.1875 (N= 16)	2.4163 *
8 日目	熱烈な雰囲気	19.73	4.9474 (N= 19)	4.5000 (N= 18)	2.3231 *
8 日目	生産的な雰囲気	26.19	4.8421 (N= 19)	4.3333 (N= 18)	2.0948 *
8 日目	成功する雰囲気	24.19	4.8421 (N= 19)	4.3889 (N= 18)	2.2390 *
9 日目	友好的な雰囲気	21.16	4.8500 (N= 20)	4.3750 (N= 16)	2.4052 *
9 日目	受容的な雰囲気	24.60	4.8000 (N= 20)	4.1250 (N= 16)	2.8965 **
9 日目	熱烈な雰囲気	17.43	4.9500 (N= 20)	4.3125 (N= 16)	3.4836 **
9 日目	生産的な雰囲気	23.53	4.8500 (N= 20)	4.1250 (N= 16)	3.1612 **
9 日目	暖かい雰囲気	18.04	4.9500 (N= 20)	4.5625 (N= 16)	2.3479 *
9 日目	協力的な雰囲気	25.43	4.8500 (N= 20)	4.3750 (N= 16)	2.2577 *
9 日目	支持的な雰囲気	22.72	4.8000 (N= 20)	4.1875 (N= 16)	2.3931 *
9 日目	成功する雰囲気	22.64	4.8500 (N= 20)	4.2500 (N= 16)	2.4955 *
10 日目	友好的な雰囲気	18.38	4.9474 (N= 19)	4.4118 (N= 17)	2.6791 *
10 日目	受容的な雰囲気	23.79	4.8947 (N= 19)	4.3529 (N= 17)	2.3152 *
10 日目	満足させる雰囲気	28.38	4.8421 (N= 19)	4.4118 (N= 17)	2.0734 *
10 日目	熱烈な雰囲気	20.23	4.8421 (N= 19)	4.2353 (N= 17)	2.4224 *
10 日目	暖かい雰囲気	19.84	4.9474 (N= 19)	4.4706 (N= 17)	2.9744 **
12 日目	熱烈な雰囲気	19.30	4.9474 (N= 19)	4.5000 (N= 18)	2.1420 *
13 日目	支持的な雰囲気	17.00	5.0000 (N= 16)	4.6111 (N= 18)	2.7151 *

** $p<0.01$ * $p<0.05$

②あなたは運動することが好きか嫌い別

2日目の受容的な雰囲気、暖かい雰囲気、支持的な雰囲気、成功する雰囲気に、3日目の満足させる雰囲気、生産的な雰囲気、協力的な雰囲気に、4日目の生産的な雰囲気、面白い雰囲気、成功する雰囲気に、5日目の生産的な雰囲気と面白い雰囲気に、6日目の暖かい雰囲気、面白い雰囲気に、7日目の受容的な雰囲気、満足させる雰囲気、生産的な雰囲気、支持的な雰囲気、面白い雰囲気、成功する雰囲気に、8日目の受容的な雰囲気、満足させる雰囲気、生産的な雰囲気、支持的な雰囲気、面白い雰囲気、成功する雰囲気に、9日目の友好的な雰囲気受容的な雰囲気、生産的な雰囲気、協力的な雰囲気、支持的な雰囲気、成功する雰囲気に、10日目の受容的な雰囲気に、11日目の生産的な雰囲気に、12日目の成功する雰囲気に、13日目の生産的な雰囲気に、運動することが嫌いと答える学生の平均値が運動することが好きと答える学生の平均値より高く、運動することが好きか嫌いとの間に有意差 ($p<0.01$) が認められた。

また、13日目の満足させる雰囲気、支持的な雰囲気に、運動することが嫌いと答える学生の平均値が運動することが好きと答える学生の平均値より高く、運動することが好きか嫌いとの間に有意差 ($p<0.05$) が認められた。

表 1—2：雰囲気構造と運動することが好きか嫌い別

	雰囲気構造	自由度	平均値 (好き)	平均値 (嫌い)	
2日目	受容的な雰囲気	29.00	4.6667 (N= 30)	5.0000 (N= 2)	**
2日目	暖かい雰囲気	29.00	4.6667 (N= 30)	5.0000 (N= 2)	**
2日目	支持的な雰囲気	29.00	4.6000 (N= 30)	5.0000 (N= 2)	**
2日目	成功する雰囲気	29.00	4.6000 (N= 30)	5.0000 (N= 2)	**
3日目	満足させる雰囲気	29.00	4.5000 (N= 30)	5.0000 (N= 2)	**
3日目	生産的な雰囲気	29.00	4.5000 (N= 30)	5.0000 (N= 2)	**
3日目	協力的な雰囲気	29.00	4.5333 (N= 30)	5.0000 (N= 2)	**
4日目	生産的な雰囲気	29.00	4.5333 (N= 30)	5.0000 (N= 2)	**
4日目	面白い雰囲気	29.00	4.6667 (N= 30)	5.0000 (N= 2)	**
4日目	成功する雰囲気	29.00	4.6000 (N= 30)	5.0000 (N= 2)	**
5日目	生産的な雰囲気	23.00	4.3750 (N= 24)	5.0000 (N= 2)	**
5日目	面白い雰囲気	23.00	4.6250 (N= 24)	5.0000 (N= 2)	**
6日目	暖かい雰囲気	22.00	4.5217 (N= 23)	5.0000 (N= 2)	**
6日目	面白い雰囲気	22.00	4.5217 (N= 23)	5.0000 (N= 2)	**
7日目	受容的な雰囲気	28.00	4.5172 (N= 29)	5.0000 (N= 2)	**
7日目	満足させる雰囲気	28.00	4.5517 (N= 29)	5.0000 (N= 2)	**
7日目	生産的な雰囲気	28.00	4.4828 (N= 29)	5.0000 (N= 2)	**
7日目	支持的な雰囲気	28.00	4.4483 (N= 29)	5.0000 (N= 2)	**
7日目	面白い雰囲気	28.00	4.5517 (N= 29)	5.0000 (N= 2)	**
7日目	成功する雰囲気	28.00	4.4483 (N= 29)	5.0000 (N= 2)	**
8日目	満足させる雰囲気	28.00	4.6207 (N= 29)	5.0000 (N= 2)	**
8日目	熱烈的な雰囲気	28.00	4.6552 (N= 29)	5.0000 (N= 2)	**
9日目	友好的な雰囲気	28.00	4.6207 (N= 29)	4.0000 (N= 2)	**
9日目	受容的な雰囲気	28.00	4.4483 (N= 29)	4.0000 (N= 2)	**
9日目	生産的な雰囲気	28.00	4.4828 (N= 29)	4.0000 (N= 2)	**
9日目	協力的な雰囲気	28.00	4.5517 (N= 29)	5.0000 (N= 2)	**
9日目	支持的な雰囲気	28.00	4.4828 (N= 29)	4.0000 (N= 2)	**
9日目	成功する雰囲気	28.00	4.4828 (N= 29)	5.0000 (N= 2)	**
10日目	受容的な雰囲気	28.00	4.5517 (N= 29)	5.0000 (N= 2)	**
11日目	生産的な雰囲気	27.00	4.5357 (N= 28)	5.0000 (N= 2)	**
12日目	成功する雰囲気	28.00	4.5862 (N= 29)	5.0000 (N= 2)	*
13日目	満足させる雰囲気	26.00	4.7407 (N= 27)	5.0000 (N= 2)	*
13日目	生産的な雰囲気	26.00	4.6667 (N= 27)	5.0000 (N= 2)	**
13日目	支持的な雰囲気	26.00	4.7407 (N= 27)	5.0000 (N= 2)	*

** $p<0.01$ * $p<0.05$ Mann・WhitneyのU検定

第2回と第7回と第9回に運動することが好きか嫌いに有意差を多くみられた。第2回は冬学期が始まってから初めての実技であった。運動することが好きと答えた学生は、運動に対する欲求が高まり、運動することが嫌いと答え学生は、運動に対してあまり欲求が高まらなかったと思われる。

第7回と第9回ともに、サッカーを授業題材した。このことから、運動することが嫌いと答えた学生は、サッカーを敬遠する傾向がある。

③雰囲気における体育授業が好きか嫌い別

2日目の受容的な雰囲気、生産的な雰囲気、暖かい雰囲気、成功する雰囲気に、3日目の満足させる雰囲気、生産的な雰囲気、協力的な雰囲気に、4日目の満足させる雰囲気、生産的な

表 1—3：雰囲気構造と体育授業が好きか嫌い別

	雰囲気構造	自由度	平均値（好き）	平均値（嫌い）	
2日目	受容的な雰囲気	29.00	4.6667 (N= 30)	5.0000 (N= 3)	**
2日目	生産的な雰囲気	29.00	4.4667 (N= 30)	5.0000 (N= 3)	**
2日目	暖かい雰囲気	29.00	4.6667 (N= 30)	5.0000 (N= 3)	**
3日目	満足させる雰囲気	29.00	4.5000 (N= 30)	5.0000 (N= 3)	**
3日目	生産的な雰囲気	29.00	4.5000 (N= 30)	5.0000 (N= 3)	**
3日目	協力的な雰囲気	29.00	4.5333 (N= 30)	5.0000 (N= 3)	**
4日目	満足させる雰囲気	29.00	4.5333 (N= 30)	5.0000 (N= 3)	**
4日目	生産的な雰囲気	29.00	4.5333 (N= 30)	5.0000 (N= 3)	**
4日目	面白い雰囲気	29.00	4.6667 (N= 30)	5.0000 (N= 3)	**
4日目	成功する雰囲気	29.00	4.6000 (N= 30)	5.0000 (N= 3)	**
5日目	満足させる雰囲気	23.00	4.4167 (N= 24)	5.0000 (N= 3)	**
5日目	生産的な雰囲気	23.00	4.3750 (N= 24)	5.0000 (N= 3)	**
5日目	暖かい雰囲気	23.00	4.5000 (N= 24)	5.0000 (N= 3)	**
5日目	面白い雰囲気	23.00	4.6250 (N= 24)	5.0000 (N= 3)	**
5日目	成功する雰囲気	23.00	4.4167 (N= 24)	5.0000 (N= 3)	**
6日目	満足させる雰囲気	23.00	4.4583 (N= 24)	5.0000 (N= 2)	**
6日目	生産的な雰囲気	23.00	4.3333 (N= 24)	5.0000 (N= 2)	**
6日目	暖かい雰囲気	23.00	4.5417 (N= 24)	5.0000 (N= 2)	**
6日目	面白い雰囲気	23.00	4.5417 (N= 24)	5.0000 (N= 2)	**
7日目	受容的な雰囲気	27.00	4.5000 (N= 28)	5.0000 (N= 3)	**
7日目	満足させる雰囲気	27.00	4.5357 (N= 28)	5.0000 (N= 3)	**
7日目	生産的な雰囲気	27.00	4.4643 (N= 28)	5.0000 (N= 3)	**
7日目	暖かい雰囲気	27.00	4.5000 (N= 28)	5.0000 (N= 3)	**
7日目	支持的な雰囲気	27.00	4.4286 (N= 28)	5.0000 (N= 3)	**
7日目	面白い雰囲気	27.00	4.5357 (N= 28)	5.0000 (N= 3)	**
7日目	成功する雰囲気	27.00	4.4286 (N= 28)	5.0000 (N= 3)	**
8日目	満足させる雰囲気	28.00	4.6207 (N= 29)	5.0000 (N= 3)	**
8日目	熱烈な雰囲気	28.00	4.6552 (N= 29)	5.0000 (N= 3)	**
8日目	支持的な雰囲気	28.00	4.4483 (N= 29)	5.0000 (N= 3)	**
9日目	熱烈な雰囲気	28.00	4.5862 (N= 29)	5.0000 (N= 2)	**
9日目	協力的な雰囲気	28.00	4.5517 (N= 29)	5.0000 (N= 2)	**
9日目	成功する雰囲気	28.00	4.4828 (N= 29)	5.0000 (N= 2)	**
10日目	受容的な雰囲気	28.00	4.5517 (N= 29)	5.0000 (N= 2)	**
10日目	満足させる雰囲気	28.00	4.5517 (N= 29)	5.0000 (N= 2)	**
10日目	暖かい雰囲気	28.00	4.6552 (N= 29)	5.0000 (N= 2)	**
11日目	生産的な雰囲気	27.00	4.5357 (N= 28)	5.0000 (N= 2)	**
12日目	成功する雰囲気	28.00	4.5862 (N= 29)	5.0000 (N= 3)	*
13日目	満足させる雰囲気	26.00	4.7407 (N= 27)	5.0000 (N= 3)	*
13日目	生産的な雰囲気	26.00	4.6667 (N= 27)	5.0000 (N= 3)	**
13日目	支持的な雰囲気	26.00	4.7407 (N= 27)	5.0000 (N= 3)	*

**p<0.01 *p<0.05 Mann・WhitneyのU検定

雰囲気、面白い雰囲気に、5日目の満足させる雰囲気、生産的な雰囲気、暖かい雰囲気、面白い雰囲気、成功する雰囲気に、6日目の満足させる雰囲気、生産的な雰囲気、暖かい雰囲気、面白い雰囲気に、7日目の受容的な雰囲気、満足させる雰囲気、生産的な雰囲気、暖かい雰囲気、支持的な雰囲気、面白い雰囲気、成功する雰囲気に、8日目の満足させる雰囲気、熱烈的な雰囲気、支持的な雰囲気に、9日目の満足させる雰囲気、協力的な雰囲気、成功する雰囲気に、10日目の受容的な雰囲気、満足させる雰囲気、暖かい雰囲気に、11日目の生産的な雰囲気に、13日目の生産的な雰囲気に、体育授業が嫌いと答える学生の平均値が、体育授業が好きと答える学生の平均値より高く、体育授業が好きと体育授業が嫌いとの間に有意差 ($p<0.01$) が認められた。

また、12日目の成功する雰囲気に、13日目の満足させる雰囲気、支持的な雰囲気に、体育授業が嫌いと答える学生の平均値が、体育授業が好きと答える学生の平均値より高く、体育授業が好きと体育授業が嫌いとの間に有意差 ($p<0.05$) が認められた。

第2回、第3回、第4回、第5回、第6回、第7回に体育授業が好きか嫌いに多くの有意差が認められた。第2回を除いた他の回は、屋外でのスポーツを授業展開しているところに共通点があった。体育が嫌いと答えた学生は、室内競技を好む傾向があると考えられる。

④あなたは種目が好きか嫌い別

2日目の満足させる雰囲気、熱烈的な雰囲気、生産的な雰囲気、暖かい雰囲気、成功する雰囲気に、3日目の満足させる雰囲気、生産的な雰囲気、協力的な雰囲気に、4日目の満足させる雰囲気、生産的な雰囲気、面白い雰囲気、成功する雰囲気に、5日目の満足させる雰囲気、生産的な雰囲気、暖かい雰囲気、面白い雰囲気、成功する雰囲気に、6日目の満足させる雰囲気、生産的な雰囲気、暖かい雰囲気、面白い雰囲気に、7日目の受容的な雰囲気、満足させる雰囲気、生産的な雰囲気、暖かい雰囲気、支持的な雰囲気、面白い雰囲気、成功する雰囲気に、9日目の満足させる雰囲気、熱烈的な雰囲気、暖かい雰囲気、協力的な雰囲気、成功する雰囲気に、10日目の友好的な雰囲気、受容的な雰囲気、満足させる雰囲気、暖かい雰囲気、支持的な雰囲気に、11日目の生産的な雰囲気に、種目が嫌いと答える学生の平均値が、種目が好きと答える学生の平均値より高く、種目が好きと種目が嫌いとの間に有意差 ($p<0.01$) が認められた。

また、10日目の協力的な雰囲気、成功する雰囲気に、11日目の熱烈的な雰囲気、支持的な雰囲気、成功する雰囲気に、12日目の友好的な雰囲気、受容的な雰囲気、熱烈的な雰囲気、生産的な雰囲気、協力的な雰囲気、支持的な雰囲気、面白い雰囲気、成功する雰囲気に、13日目の満足させる雰囲気、生産的な雰囲気、支持的な雰囲気に、種目が嫌いと答える学生の平均値が、種目が好きと答える学生の平均値より高く、種目が好きと種目が嫌いとの間に有意差 ($p<0.05$) が認められた。

第8回を除いた他の回において、種目が好きか嫌いに、有意差が多く見られた。今回の種目とは、生涯スポーツとして、小学校の体育でしてきた運動そのものとしている。種目が嫌いと答えた学生には、種目そのものに苦手意識が根底にあると思われる。

表 1—4：雰囲気構造と種目が好きか嫌い別

	雰囲気構造	自由度	平均値（好き）	平均値（嫌い）	
2 日目	受容的な雰囲気	26.00	4.6667 (N= 27)	5.0000 (N= 5)	**
2 日目	熱烈な雰囲気	26.00	4.7037 (N= 27)	5.0000 (N= 5)	*
2 日目	生産的な雰囲気	26.00	4.4074 (N= 27)	5.0000 (N= 5)	**
2 日目	暖かい雰囲気	26.00	4.6296 (N= 27)	5.0000 (N= 5)	**
2 日目	成功する雰囲気	26.00	4.5556 (N= 27)	5.0000 (N= 5)	**
3 日目	満足させる雰囲気	25.00	4.4615 (N= 26)	5.0000 (N= 5)	**
3 日目	生産的な雰囲気	25.00	4.4231 (N= 26)	5.0000 (N= 5)	**
3 日目	協力的な雰囲気	25.00	4.4615 (N= 26)	5.0000 (N= 5)	**
4 日目	満足させる雰囲気	25.00	4.4615 (N= 26)	5.0000 (N= 5)	**
4 日目	生産的な雰囲気	25.00	4.4615 (N= 26)	5.0000 (N= 5)	**
4 日目	面白い雰囲気	25.00	4.6538 (N= 26)	5.0000 (N= 5)	**
4 日目	成功する雰囲気	25.00	4.5769 (N= 26)	5.0000 (N= 5)	**
5 日目	満足させる雰囲気	22.00	4.3913 (N= 23)	5.0000 (N= 4)	**
5 日目	生産的な雰囲気	22.00	4.3478 (N= 23)	5.0000 (N= 4)	**
5 日目	暖かい雰囲気	22.00	4.4783 (N= 23)	5.0000 (N= 4)	**
5 日目	面白い雰囲気	22.00	4.6087 (N= 23)	5.0000 (N= 4)	**
5 日目	成功する雰囲気	22.00	4.3913 (N= 23)	5.0000 (N= 4)	**
6 日目	満足させる雰囲気	21.00	4.4091 (N= 22)	5.0000 (N= 2)	**
6 日目	生産的な雰囲気	21.00	4.3182 (N= 22)	5.0000 (N= 2)	**
6 日目	暖かい雰囲気	21.00	4.5909 (N= 22)	5.0000 (N= 2)	**
6 日目	面白い雰囲気	21.00	4.5000 (N= 22)	5.0000 (N= 2)	**
7 日目	受容的な雰囲気	25.00	4.4615 (N= 26)	5.0000 (N= 3)	**
7 日目	満足させる雰囲気	25.00	4.5000 (N= 26)	5.0000 (N= 3)	**
7 日目	生産的な雰囲気	25.00	4.4615 (N= 26)	5.0000 (N= 3)	**
7 日目	暖かい雰囲気	25.00	4.5000 (N= 26)	5.0000 (N= 3)	**
7 日目	支持的な雰囲気	25.00	4.4231 (N= 26)	5.0000 (N= 3)	**
7 日目	面白い雰囲気	25.00	4.5385 (N= 26)	5.0000 (N= 3)	**
7 日目	成功する雰囲気	25.00	4.4231 (N= 26)	5.0000 (N= 3)	**
9 日目	満足させる雰囲気	25.00	4.5769 (N= 26)	5.0000 (N= 3)	**
9 日目	熱烈な雰囲気	25.00	4.5385 (N= 26)	5.0000 (N= 3)	**
9 日目	暖かい雰囲気	25.00	4.6923 (N= 26)	5.0000 (N= 3)	**
9 日目	協力的な雰囲気	25.00	4.5385 (N= 26)	5.0000 (N= 3)	**
9 日目	成功する雰囲気	25.00	4.4615 (N= 26)	5.0000 (N= 3)	**
1 0 日目	友好的な雰囲気	24.00	4.5600 (N= 25)	5.0000 (N= 4)	**
1 0 日目	受容的な雰囲気	24.00	4.4800 (N= 25)	5.0000 (N= 4)	**
1 0 日目	満足させる雰囲気	24.00	4.5200 (N= 25)	5.0000 (N= 4)	**
1 0 日目	暖かい雰囲気	24.00	4.6000 (N= 25)	5.0000 (N= 4)	**
1 0 日目	協力的な雰囲気	24.00	4.6000 (N= 25)	5.0000 (N= 4)	*
1 0 日目	支持的な雰囲気	24.00	4.5600 (N= 25)	5.0000 (N= 4)	**
1 0 日目	成功する雰囲気	24.00	4.6000 (N= 25)	5.0000 (N= 4)	*
1 1 日目	熱烈な雰囲気	24.00	4.7200 (N= 25)	5.0000 (N= 3)	*
1 1 日目	生産的な雰囲気	24.00	4.5200 (N= 25)	5.0000 (N= 3)	**
1 1 日目	支持的な雰囲気	24.00	4.6400 (N= 25)	5.0000 (N= 3)	*
1 1 日目	成功する雰囲気	24.00	4.6400 (N= 25)	5.0000 (N= 3)	*
1 2 日目	友好的な雰囲気	24.00	4.6400 (N= 25)	5.0000 (N= 5)	*
1 2 日目	受容的な雰囲気	24.00	4.6000 (N= 25)	5.0000 (N= 5)	*
1 2 日目	熱烈な雰囲気	24.00	4.6000 (N= 25)	5.0000 (N= 5)	*
1 2 日目	生産的な雰囲気	24.00	4.5600 (N= 25)	5.0000 (N= 5)	*
1 2 日目	暖かい雰囲気	24.00	4.6000 (N= 25)	5.0000 (N= 5)	*
1 2 日目	支持的な雰囲気	24.00	4.6000 (N= 25)	5.0000 (N= 5)	*
1 2 日目	面白い雰囲気	24.00	4.6400 (N= 25)	5.0000 (N= 5)	*
1 2 日目	成功する雰囲気	24.00	4.5600 (N= 25)	5.0000 (N= 5)	*
1 3 日目	満足させる雰囲気	22.00	4.7391 (N= 23)	5.0000 (N= 5)	*
1 3 日目	生産的な雰囲気	22.00	4.6522 (N= 23)	5.0000 (N= 5)	*
1 3 日目	支持的な雰囲気	22.00	4.6957 (N= 23)	5.0000 (N= 5)	*

**p<0.01 *p<0.05 Mann・WhitneyのU検定

⑤雰囲気における種目が得意か不得意別

種目に対して得意と不得意に有意差が認められなかった。

⑥あなたは部活に所属しているかいけない別

10日目の協力的な雰囲気と成功する雰囲気に、11日目の受容的な雰囲気に、部活に所属していると答える学生の平均値が、部活に所属していないと答える学生の平均値より高く、部活に所属していると部活に所属していないとの間に有意差 ($p<0.01$) が認められた。

また、10日目の暖かい雰囲気に、11日目の満足させる雰囲気に、部活に所属していると答える学生の平均値が、部活に所属していないと答える学生の平均値より高く、部活に所属していると部活に所属していないとの間に有意差 ($p<0.05$) が認められた。

冬学期の授業において、部活に所属しているようが、無所属であろうが、あまり関係ないことが示唆されたと考えられる。

表 1—5：雰囲気構造と部活に所属しているかいけない別

	雰囲気構造	自由度	平均値 (所属)	平均値 (無所属)	
1 0 日目	暖かい雰囲気	17. 00	4. 7273 (N= 22)	4. 5556 (N= 9)	**
1 0 日目	協力的な雰囲気	24. 00	4. 7273 (N= 22)	4. 5556 (N= 9)	*
1 0 日目	成功する雰囲気	23. 45	4. 6818 (N= 22)	4. 5556 (N= 9)	*
1 1 日目	受容的な雰囲気	23. 78	4. 6500 (N= 20)	4. 7000 (N= 10)	**
1 1 日目	満足させる雰囲気	24. 00	4. 8000 (N= 20)	4. 7000 (N= 10)	*

** $p<0.01$ * $p<0.05$ Mann・Whitney の U 検定

⑦私生活で運動することがあるかない別

4日目の友好的な雰囲気に、5日目の熱烈な雰囲気に、7日目の熱烈な雰囲気と協力的な雰囲気に、8日目の生産的な雰囲気、暖かい雰囲気、協力的な雰囲気に、私生活で運動することがあると答える学生の平均値が、私生活で運動することがないと答える学生の平均値より高く、運動することがあると運動することがないと間に有意差 ($p<0.05$) が認められた。

冬学期の授業において、私生活で運動している学生と運動をしていない学生に、あまり違いがないことが示唆された。

表 1—6：雰囲気構造と私生活で運動することがあるかない別

	雰囲気構造	自由度	平均値 (ある)	平均値 (ない)	t 値
4 日目	友好的な雰囲気	20. 71	4. 8824 (N= 17)	4. 4375 (N= 16)	2. 2365772 *
5 日目	熱烈な雰囲気	25. 00	4. 7857 (N= 14)	4. 1538 (N= 13)	2. 3630159 *
7 日目	熱烈な雰囲気	20. 23	4. 7647 (N= 17)	4. 1429 (N= 14)	2. 1589521 *
7 日目	協力的な雰囲気	20. 69	4. 7647 (N= 17)	4. 0714 (N= 14)	2. 4721195 *
8 日目	生産的な雰囲気	25. 97	4. 8667 (N= 15)	4. 2353 (N= 17)	2. 461568 *
8 日目	暖かい雰囲気	20. 54	4. 9333 (N= 15)	4. 4706 (N= 17)	2. 4833852 *
8 日目	協力的な雰囲気	21. 73	4. 8667 (N= 15)	4. 3529 (N= 17)	2. 2541559 *

** $p<0.01$ * $p<0.05$

⑧あなたは運動することが得意か不得意別

11日目の熱烈な雰囲気、生産的な雰囲気、支持的な雰囲気に、13日目の熱烈な雰囲気、支持的な雰囲気に、あなたは運動することが不得意と答える学生の平均値が、あなたは運動することが得意と答える学生の平均値より高く、運動することが得意と運動することが不得意との間に有意差 ($p<0.01$) が認められた。

8日目の面白い雰囲気、9日目の友好的な雰囲気、受容的な雰囲気、生産的な雰囲気、支持的な雰囲気、面白い雰囲気に、11日目の成功する雰囲気、満足させる雰囲気に、13日目の受容的な雰囲気に、あなたは運動することが不得意と答える学生の平均値が、あなたは運動することが得意と答える学生の平均値より高く、運動することが得意と運動することが不得意の間に有意差 ($p<0.05$) が認められた。

運動することが得意と答えた学生と不得意と答えた学生とにあまり有意差をみることができなかった。運動することが得意と想着いても、運動することが不得意と想着いても、同じ雰囲気を持っていると思われる。

表 1—7：雰囲気構造と私生活で運動することが得意か不得意別

	雰囲気構造	自由度	平均値 (得意)	平均値 (不得意)	
8 日目	面白い雰囲気	-2.53	4.7037 (N= 27)	5.0000 (N= 5)	*
9 日目	友好的な雰囲気	2.47	4.6923 (N= 26)	4.0000 (N= 5)	*
9 日目	受容的な雰囲気	2.08	4.5385 (N= 26)	3.8000 (N= 5)	*
9 日目	生産的な雰囲気	2.20	4.5769 (N= 26)	3.8000 (N= 5)	*
9 日目	支持的な雰囲気	2.07	4.5769 (N= 26)	3.8000 (N= 5)	*
9 日目	面白い雰囲気	2.07	4.6923 (N= 26)	4.0000 (N= 5)	*
1 1 日目	満足させる雰囲気	-2.56	4.7407 (N= 27)	5.0000 (N= 3)	*
1 1 日目	熱烈な雰囲気	-2.84	4.7037 (N= 27)	5.0000 (N= 3)	**
1 1 日目	生産的な雰囲気	-3.12	4.5185 (N= 27)	5.0000 (N= 3)	**
1 1 日目	支持的な雰囲気	-2.80	4.6296 (N= 27)	5.0000 (N= 3)	**
1 1 日目	成功する雰囲気	-2.83	4.5926 (N= 27)	5.0000 (N= 3)	**
1 3 日目	受容的な雰囲気	-2.28	4.7200 (N= 25)	5.0000 (N= 5)	*
1 3 日目	熱烈な雰囲気	-2.30	4.7600 (N= 25)	5.0000 (N= 5)	*
1 3 日目	支持的な雰囲気	-2.58	4.7200 (N= 25)	5.0000 (N= 5)	*

** $p<0.01$ * $p<0.05$ Mann・Whitney の U 検定

⑨あなたは得意な種目があるかないか別

5日目の満足させる雰囲気、熱烈な雰囲気、暖かい雰囲気、成功する雰囲気に、8日目の成功する雰囲気に、9日目の友好的な雰囲気、熱烈な雰囲気に、あなたは得意な種目があると答えた学生の平均値が、あなたは得意な種目がないと答えた学生の平均値高く、得意な種目があると得意な種目がないとの間に有意差 ($p<0.01$) が認められた。

7日目の満足させる雰囲気、暖かい雰囲気、面白い雰囲気に、8日目の生産的な雰囲気、暖かい雰囲気、協力的な雰囲気に、13日目の支持的な雰囲気に、あなたは得意な種目があると答えた学生の平均値が、あなたは得意な種目がないと答えた学生の平均値高く、得意な種目があると得意な種目がないとの間に有意差 ($p<0.05$) が認められた。

得意な種目があると答えた学生と得意な種目がないと答えた学生に意差をみることができなかった。得意な種目を持っていてもいなくとも、同じ雰囲気を持っていると思われる。

表 1—8：雰囲気構造と得意な種目があるかないか別

	雰囲気構造	自由度	平均値（得意）	平均値（不得意）	
5 日目	満足させる雰囲気	3.38	4.5200 (N= 25)	4.0000 (N= 2)	**
5 日目	熱烈な雰囲気	3.38	4.5200 (N= 25)	4.0000 (N= 2)	**
5 日目	暖かい雰囲気	4.65	4.6000 (N= 25)	4.0000 (N= 2)	**
5 日目	成功する雰囲気	3.38	4.5200 (N= 25)	4.0000 (N= 2)	**
7 日目	満足させる雰囲気	2.10	4.6333 (N= 30)	0.0000 (N= 0)	*
7 日目	暖かい雰囲気	2.17	4.6000 (N= 30)	0.0000 (N= 0)	*
7 日目	面白い雰囲気	2.40	4.6333 (N= 30)	0.0000 (N= 0)	*
8 日目	生産的な雰囲気	2.06	4.6207 (N= 29)	0.0000 (N= 0)	*
8 日目	暖かい雰囲気	2.25	4.7586 (N= 29)	0.0000 (N= 0)	*
8 日目	協力的な雰囲気	2.57	4.6897 (N= 29)	3.6667 (N= 3)	*
8 日目	成功する雰囲気	4.11	4.6897 (N= 29)	3.3333 (N= 3)	**
9 日目	友好的な雰囲気	5.38	4.6207 (N= 29)	4.0000 (N= 2)	**
9 日目	熱烈な雰囲気	2.97	4.6897 (N= 29)	3.5000 (N= 2)	**
1 3 日目	支持的な雰囲気	-2.56	4.7407 (N= 27)	5.0000 (N= 3)	*

**p<0.01 *p<0.05 Mann・WhitneyのU検定

2. 授業における学習意欲

(1) 学習意欲における考察

10種の雰囲気において、第9回目において、平均点が低下していること多かった。このことから、第9回目を中心に学習意欲の推移を見ていくことにした。

①学習意欲尺度の分析

11項目に対して主因子法による因子分析を行った。固有値の変化は、6.359、1.571、0.719、0.387・・・というものであり、2因子構造が妥当であると考えられた。そこで、再度2因子を仮定して最尤法・Promax回転による因子分析を行った。

KMOについては、最低でも0.5以上を満たすことが必要とされ、0.7以上が望ましいとされている。また、Bartlett検定は変数間が無相関であるという仮説検定の結果を示し、 $p<0.05$ であれば仮説は棄却、すなわち、変数間に相関が存在し、因子分析にける適合性があると判断する。調査のデータでは、KMOは0.752、Bartlettの球面性検定結果は $p<0.001$ （近似カイ二乗=322.276、df=55）となるため、因子分析の適用は妥当と判断される。

Promax回転後の最終的な因子パターンと因子間相関は表1に示す。回転前の2因子で10項目の全分散を説明する割合は79.302%であった。

第1因子は、「上手にできる人のまねをする等、色々工夫した。」「先生の言うことには、素直に従った。」「先生の話をしっかり聞いた。」など、学習に対して積極的に参加する内容の項目が高い負荷量を示していた。このことから、「積極的」因子と命名した。

第2因子は、「みんなの前で運動する時は、あがってしまった。」「競争する場面で、負けた時のことを心配してしまった。」など、学習に対して自分を客観的に見ている内容の項目が高い負荷量を示していた。このことから、「客観的」因子を命名した。

表 2 学習意欲の因子分析結果 (Promax 回転後の因子パターン)

項目内容	I	II
上手にできる人のまねをする等、色々工夫した。	1.00	-0.08
先生の言うことには、素直に従った。	0.83	-0.09
先生の話をしっかり聞いた。	0.82	-0.13
これからもプラスになることが多いと思えた。	0.81	0.02
運動する時には、できるだけうまい人のやり方をまねるようにした。	0.75	0.14
運動がうまく出来るようになれば、将来きっと役に立つと思えた。	0.71	0.03
苦しい練習でも、がんばることができた。	0.68	0.08
ほとんどの運動は、うまくできた。	0.46	0.36
みんなの前で運動する時は、あがってしまった。	-0.09	0.93
競争する場面で、負けた時のことを心配してしまった。	0.02	0.92
因子間相関	I	II
I	—	0.40
II		—

②下位尺度間の関連

学習意欲尺度の2つの下位尺度に相当する項目の平均値を算出し、「積極的」下位尺度得点(平均 4.59 SD 0.53)、「客観的」下位尺度得点(平均 3.82 SD 1.43)とした。内的整合性を検討するために各下位尺度の α 係数を算出したところ、「積極的」で、 $\alpha=0.91$ 、「客観的」で、 $\alpha=0.91$ と十分な値が得られた。2つの下位尺度は互いに有意な正の相関を示した。

表 3 学習意欲の下位尺度間相関と平均、SD、 α 係数

	積極的	客観的	平均	SD	α
積極的	—	0.51 **	4.59	0.53	0.91
客観的		—	3.82	1.43	0.91

** $p<0.01$

(2) 学習意欲尺度による学習意欲の推移

学習意欲尺度において各学習意欲因子別に推移を見てみた。

「積極的」な学習意欲について見てみると、10回目には少し下がってはいるものの、平均的に高い値を示している。このことは、毎回の授業に対して高い学習意欲で参加していることを示

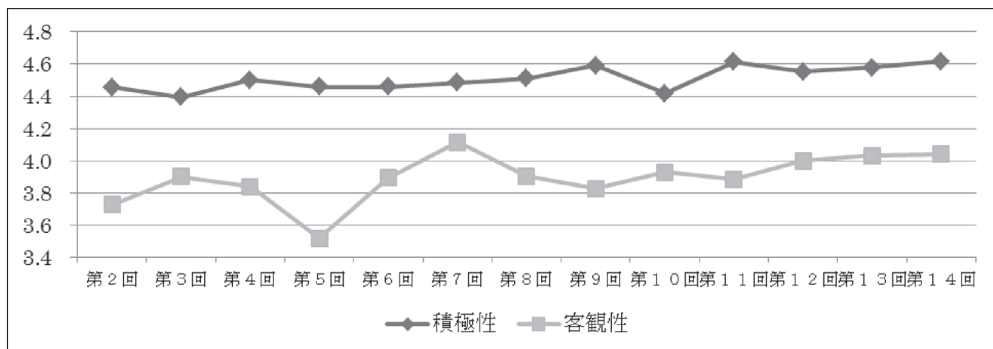


図 3 学習意欲の推移

している。

「客観的」な学習意欲について見てみると、5回目に下降しているもの、右上がりになっている。自分の事だけでなく、周囲に気を配り空気が読めるようになっていることを示している。

(3) 学習者属性にみた学習意欲得点の比較

対応のないt検定における有意差があるものを記した。

冬学期(13回)における「男子・女子」「あなたは運動することが好きですか。」「あなたは体育授業が好きですか。」「あなたは種目が好きですか。」「私生活で運動することがありますか。」「あなたは運動することが得意ですか。」「あなたは運動することが得意ですか。」別の対応のないt検定において有意差があるものを記した。

①性別

2日目の「積極的」な学習意欲、「客観的」な学習意欲に、3日目の「積極的」な学習意欲、「客観的」な学習意欲に、4日目の「客観的」な学習意欲に、5日目の「客観的」な学習意欲に、6日目の「積極的」な学習意欲、「客観的」な学習意欲に、7日目の「客観的」な学習意欲に、8日目の「積極的」な学習意欲、「客観的」な学習意欲に、9日目の「積極的」な学習意欲、「客観的」な学習意欲に、10日目の「積極的」な学習意欲、「客観的」な学習意欲に、11日目の「客観的」な学習意欲に、12日目の「積極的」な学習意欲、「客観的」な学習意欲に、13日目の「積極的」

表 4-1 学習意欲構造と性別

	学習意欲構造	自由度	平均値 (男子)		平均値 (女子)		t 値	
2 日目	積極性	34.00	4.7602	(N= 19)	4.1176	(N= 17)	3.8084	**
2 日目	客観性	36.00	4.6053	(N= 19)	2.8421	(N= 19)	5.2676	**
3 日目	積極性	32.00	4.7255	(N= 17)	4.0327	(N= 17)	3.2523	**
3 日目	客観性	32.00	4.6765	(N= 17)	3.0588	(N= 17)	4.5479	**
4 日目	積極性	35.00	4.7000	(N= 20)	4.2680	(N= 17)	2.3036	*
4 日目	客観性	35.00	4.5000	(N= 20)	3.0588	(N= 17)	3.7724	**
5 日目	積極性	26.00	4.7870	(N= 12)	4.2083	(N= 16)	2.5519	*
5 日目	客観性	24.13	4.6250	(N= 12)	2.8438	(N= 16)	4.2686	**
6 日目	積極性	11.72	4.7843	(N= 17)	4.0333	(N= 10)	3.5010	**
6 日目	客観性	10.94	4.7353	(N= 17)	2.5500	(N= 10)	5.2266	**
7 日目	客観性	19.56	4.7895	(N= 19)	3.3333	(N= 15)	4.6260	**
8 日目	積極性	22.22	4.8129	(N= 19)	4.1765	(N= 17)	3.2328	**
8 日目	客観性	20.97	4.7895	(N= 19)	2.9118	(N= 17)	5.3813	**
9 日目	積極性	20.63	4.8778	(N= 20)	4.1825	(N= 14)	4.5340	**
9 日目	客観性	18.24	4.7500	(N= 20)	2.5000	(N= 14)	6.4406	**
1 0 日目	積極性	23.20	4.8304	(N= 19)	3.9306	(N= 16)	4.4898	**
1 0 日目	客観性	33.00	4.7368	(N= 19)	2.9688	(N= 16)	6.3221	**
1 1 日目	積極性	32.00	4.7661	(N= 19)	4.4222	(N= 15)	2.1115	*
1 1 日目	客観性	18.32	4.6842	(N= 19)	2.8667	(N= 15)	4.4582	**
1 2 日目	積極性	17.05	4.9006	(N= 19)	4.1389	(N= 16)	2.9286	**
1 2 日目	客観性	20.01	4.7368	(N= 19)	3.1765	(N= 17)	3.8845	**
1 3 日目	積極性	16.96	4.9514	(N= 16)	4.2288	(N= 17)	4.0737	**
1 3 日目	客観性	22.27	4.6563	(N= 16)	3.4412	(N= 17)	3.3626	**
1 4 日目	積極性	18.29	4.8830	(N= 19)	4.3203	(N= 17)	3.0037	**
1 4 日目	客観性	23.67	4.6842	(N= 19)	3.3235	(N= 17)	3.3015	**

**p<0.01 *p<0.05

な学習意欲、「客観的」な学習意欲に、14日目の「積極的」な学習意欲、「客観的」な学習意欲に、男子の平均値が女子の平均値より高く、男女の間に有意差 ($p<0.01$) が認められた。

また、4日目の「積極的」な学習意欲に、5日目の「積極的」な学習意欲に、11日目の「積極的」な学習意欲に、男子の平均値が女子の平均値より高く、男女の間に有意差 ($p<0.05$) が認められた。

2日目から14日目までのすべてにおいて、男子の平均値が女子の平均値を上回り、男女間に有意差が認められた。このことから、男子の方が女子よりも、学習意欲が高いと言える。

②あなたは運動することが好きか嫌い別

5日目の「客観的」な学習意欲に、7日目の「客観的」な学習意欲に、8日目の「客観的」な学習意欲に、10日目の「積極的」な学習意欲に、11日目の「客観的」な学習意欲に、12日目の「客観的」な学習意欲に、14日目の「客観的」な学習意欲に、運動することが嫌いと答えた学生の平均値が運動することが好きと答えた学生の平均値より高く、運動することが好きと嫌いとの間に有意差 ($p<0.01$) が認められた。

また、5日目の「積極的」な学習意欲に、運動することが嫌いと答えた学生の平均値が運動することが好きと答えた学生の平均値より高く、運動することが好きと嫌いとの間に有意差 ($p<0.05$) が認められた。

「客観的」な学習意欲において、運動することが嫌いと答えた学生の平均値が、運動することが好きと答えた学生の平均値より高く、多くの有意差が認められた。

このことから、運動することが嫌いと答えている学生は、主体的に参加しているのではなく、日和見に参加している傾向がある。

表 4-2 学習意欲構造と運動することが好きか嫌い別

	学習意欲構造	自由度	平均値 (好き)	平均値 (嫌い)	
5日目	積極性	22.03	4.3671 (N= 23)	4.7778 (N= 3)	*
5日目	客観性	20.01	3.2174 (N= 23)	4.3333 (N= 3)	**
7日目	客観性	27.00	3.8929 (N= 28)	5.0000 (N= 2)	**
8日目	客観性	17.29	3.6071 (N= 28)	4.8333 (N= 3)	**
10日目	積極性	22.37	4.3095 (N= 28)	4.7222 (N= 2)	*
11日目	客観性	26.00	3.6296 (N= 27)	5.0000 (N= 2)	**
12日目	客観性	18.02	3.7321 (N= 28)	4.8333 (N= 3)	**
14日目	客観性	28.00	3.8103 (N= 29)	5.0000 (N= 2)	**

** $p<0.01$ * $p<0.05$ Mann・WhitneyのU検定

③あなたは体育授業が好きか嫌い別

10日目の「積極的」な学習意欲に、12日目の「積極的」な学習意欲に、体育授業が嫌いと答えた学生の平均値が、体育授業が好きと答えた学生の平均値より高く、体育授業が好きと嫌いとの間に有意差 ($p<0.05$) が認められた。

2日目から14日目において、2回のみに有意差が認められた以外は、他の回では、有意差が認められなかった。このことから、体育授業が好きと答えた学生と体育授業が嫌いと答えた学

生に、あまり差がないと言える。

表 4-3 学習意欲構造と体育授業が好きか嫌い別

	学習意欲構造	自由度	平均値 (好き)	平均値 (嫌い)	t 値
1 0 日目	積極性	22.37	4.3095 (N= 28)	4.7222 (N= 2)	-0.0860 *
1 2 日目	積極性	26.00	4.4403 (N= 27)	4.8889 (N= 3)	-0.3329 *

**p<0.01 *p<0.05

④あなたは種目が好きか嫌い別

4 日目の「積極的」な学習意欲に、種目が嫌いと答えた学生の平均値が、種目が好きと答えた学生の平均値より高く、種目が好きと嫌いとの間に有意差 ($p<0.05$) が認められた。

今回の種目とは、生涯スポーツとして、小学校の体育でしてきた運動そのものとしている。種目が嫌いと答えた学生には、種目そのものに苦手意識が根底にあると思われる。

表 4-4 学習意欲構造と種目が好きか嫌い別

	学習意欲構造	自由度	平均値 (好き)	平均値 (嫌い)	t 値
4 日目	積極性	18.06	4.4089 (N= 25)	4.8222 (N= 5)	-1.3060 *

**p<0.01 *p<0.05

⑤種目が得意か不得意別

種目が得意と答えた学生と種目が不得意と答えた学生との間に、有意差が認められなかった。

⑥部活に所属しているかない別

部活に所属していると答えた学生と無所属であると答えた学生との間に、有意差が認められなかった。

⑦私生活で運動することがあるかないか別

2 日目の「積極的」な学習意欲、客観的な学習意欲に、3 日目の「積極的」な学習意欲、客観的な学習意欲に、私生活で運動することがあると答えた学生の平均値が私生活で運動することがないと答えた学生の平均値より高く、私生活で運動することがあるとない間に有意差 ($p<0.01$) が認められた。

4 日目の「積極的」な学習意欲に、7 日目の客観的な学習意欲に、8 日目の「積極的」な学習意欲に、9 日目の客観的な学習意欲に、10 日目の「積極的」な学習意欲に、私生活で運動することがあると答えた学生の平均値が私生活で運動することがないと答えた学生の平均値より高く、私生活で運動することがあるとない間に有意差 ($p<0.05$) が認められた。

私生活で運動すると答えた学生と私生活で運動しないと答えた学生との間に、前半では有意差が認められることが多くあったが、後半では有意差が認められなくなった。このことから、体育授業を通して私生活で運動すること私生活で運動をしないこととの隔たりをなくしている

と言える。

表 4-5 学習意欲構造と私生活で運動することがあるかないか別

	学習意欲構造	自由度	平均値 (ある)		平均値 (ない)		t 値	
2 日目	積極性	29.00	4.6597	(N= 16)	4.0963	(N= 15)	2.8542	**
2 日目	客観性	31.00	4.1471	(N= 17)	2.9063	(N= 16)	2.8934	**
3 日目	積極性	29.00	4.6536	(N= 17)	3.9286	(N= 14)	3.2083	**
3 日目	客観性	29.00	4.4412	(N= 17)	2.9286	(N= 14)	3.8222	**
4 日目	積極性	30.00	4.6732	(N= 17)	4.1852	(N= 15)	2.3625	*
7 日目	客観性	28.00	4.3235	(N= 17)	3.5000	(N= 13)	2.0756	*
8 日目	積極性	24.81	4.7481	(N= 15)	4.1806	(N= 16)	2.5653	*
9 日目	客観性	27.00	4.1563	(N= 16)	2.9615	(N= 13)	2.3609	*
10 日目	積極性	23.77	4.6389	(N= 16)	3.9921	(N= 14)	2.5439	*

**p<0.01 *p<0.05

⑧あなたは運動することが得意か不得意か別

14日目の「客観的」な学習意欲に、運動することが不得意と答えた学生の平均値が運動することが得意と答えた学生の平均値より高く、運動することが得意と不得意の間に有意差 ($p<0.01$) が認められた。

また、2日目の「積極的」な学習意欲に、運動することが不得意と答えた学生の平均値が運動することが得意と答えた学生の平均値より高く、運動することが得意と不得意の間に有意差 ($p<0.05$) が認められた。

2日目から14日目において、2回のみに有意差が認められた以外は、他の回では、有意差が認められなかった。このことから、運動することが得意と答えた学生と運動することが不得意と答えた学生に、あまり差がないと言える。

表 4-6 学習意欲構造と運動することが得意か不得意別

	学習意欲構造	自由度	平均値 (得意)		平均値 (不得意)		t 値	
2 日目	積極性	23.71	4.3248	(N= 26)	4.7111	(N= 5)	-1.0907	*
11 日目	客観性	25.00	3.5769	(N= 26)	5.0000	(N= 3)	-1.7212	**

**p<0.01 *p<0.05

⑨あなたは得意な種目があるかないか別

3日目の「積極的」な学習意欲に、得意な種目があると答えた学生の平均値が得意な種目がないと答えた学生の平均値より高く、私生活で運動することがあるとない間に有意差 ($p<0.01$) が認められた。

また、9日目の「積極的」な学習意欲に、得意な種目があると答えた学生の平均値が得意な種目がないと答えた学生の平均値より高く、私生活で運動することがあるとない間に有意差 ($p<0.05$) が認められた。

2日目から14日目において、2回のみに有意差が認められた以外は、他の回では、有意差が認められなかった。このことから、得意な種目があると答えた学生と得意な種目がないと答えた学生に、あまり差がないと言える。

表 4-7 学習意欲構造と得意な種目があるかないか別

	学習意欲構造	自由度	平均値 (ある)	平均値 (ない)	t 値
3 日目	積極性	29.00	4.4291 (N= 29)	2.8333 (N= 2)	-2.3756 **
9 日目	積極性	27.00	4.6008 (N= 27)	3.6667 (N= 2)	-1.8319 *

**p<0.01 *p<0.05

3. 授業雰囲気と学習意欲の関係についての検討

本研究では、授業における雰囲気が、学習者の学習意欲にどの様に、影響を与えているのかを知るために、授業の雰囲気の因子を独立変数とし、学習意欲の因子を従属変数とした重回帰分析を施した。また、重回帰分析において有意差があるものを記した。

(1) 3 日目における授業雰囲気と学習意欲との関係

3 日目において、授業雰囲気における成功する雰囲気が学習意欲における「積極的」な学習意欲に影響を与えている (**p<0.01) ことが認められた。3 日目は、授業の前半にドッジボールを行い、後半にバレーボールを行った。できるという雰囲気の元では、学習意欲が高まることが示唆された。

ドッジボールは投げる、取る、逃げると単調な動きが特徴であるが、その反面、個人的な体力的な面に大きく左右されることも特徴である。一方、バレーボールでは、チームの連携プレーに勝機の鍵がある。

このことから、ドッジボールでは、チーム編成により勝敗が見えやすいがバレーボールでは、チーム編成だけでは、勝敗が見えにくい。このことができる（成功する）という雰囲気が、学習意欲を積極的なものにしたと思われる。

表 5-1 授業雰囲気と学習意欲との関係

3 日目	積極性の学習意欲	客観性の学習意欲
友好的な雰囲気	1.0903	0.69841
受容的な雰囲気	0.1568	0.42481
満足させる雰囲気	-0.1650	-0.31168
熱烈な雰囲気	-1.9492	-1.08641
生産的な雰囲気	-0.1205	-0.30428
暖かい雰囲気	0.0912	-0.19199
協力的な雰囲気	0.1689	-0.19079
支持的な雰囲気	0.3925	0.30750
面白い雰囲気	-0.4362	-0.15924
成功する雰囲気	1.3522 **	0.81238

**p<0.01

(2) 4 日目における授業雰囲気と学習意欲との関係

4 日目において、授業雰囲気における熱烈な雰囲気が学習意欲における「積極的」な学習意欲に影響を与えている (*p<0.05) ことが認められた。参加者全員で何か目的を達成しようとする授業雰囲気では、学生同士の目的を達成しようとする意識が高まりやすい。このことが、授業雰囲気を熱烈なものとし、「積極的」な学習意欲に影響を与えたものと考えられる。

授業雰囲気における支持的な雰囲気が学習意欲における「積極的」な学習意欲に影響を与えている（* $p<0.05$ ）ことが認められた。

学生同士が支援し合う雰囲気の中では、各々の学生の学習意欲を積極的なものにする傾向があることを示していると考えられる。

授業雰囲気における成功する雰囲気が学習意欲における「積極的」な学習意欲に影響を与えている（* $p<0.01$ ）ことが認められた。

対戦相手に勝てそうな時や、目標に達成できそうな時の雰囲気では、学習意欲を掻き立てる傾向があると思われる。

4日目は、追いかけて遊びを行った。小学校時代にもっとも遊んだ競技の一つであるが、ただ単に小学校時代と同じ事をするのではなく、最小限で良い結果がでるようにするにはどうすればいいのかを学生に問いかけ考えさせた。ドロケンでは、追いかける方は、後ろから単に追いかけるのではなく、仲間とコミュニケーションをとることにより、より確実に逃げている者を捕まえやすくなる。このことを実践した結果であると思われる。

表 5-2 授業雰囲気と学習意欲との関係

4 日目	積極性の学習意欲	客観性の学習意欲
友好的な雰囲気	0.1842	-0.14459
受容的雰囲気	0.1579	0.54797
満足させる雰囲気	0.1093	0.03957
熱烈な雰囲気	-1.0834 *	-0.43378
生産的な雰囲気	0.1528	-0.51851
暖かい雰囲気	0.1015	-0.46455
協力的な雰囲気	0.2543	-0.51755
支持的な雰囲気	0.3610 *	0.49426
面白い雰囲気	-0.2133	0.21883
成功する雰囲気	0.8377 **	0.93992

** $p<0.01$ * $p<0.05$

(3) 5 日目における授業雰囲気と学習意欲との関係

5 日目において、授業雰囲気における熱烈な雰囲気が学習意欲における「積極的」な学習意欲に影響を与えている（* $p<0.05$ ）ことが認められた。タッチラグビーを始めて体験する学生が大半であった。初めて体験する事からみんなで試しに挑戦してみようとする雰囲気となり、「積極的な」学習意欲に影響を及ぼしたと考えられる。

授業雰囲気における支持的な雰囲気が学習意欲における「積極的」な学習意欲に影響を与えている（* $p<0.05$ ）ことが認められた。

タッチラグビーを体験することが初めてなことから、学習者同士が教え合う事が多々見受けられた。このことが、支援的な雰囲気として、「積極的な」学習意欲に影響を及ぼしたと考えられる。

授業雰囲気における成功する雰囲気が学習意欲における「積極的」な学習意欲に影響を与えている（* $p<0.05$ ）ことが認められた。

分からなかったことが、次第に理解できるようになったことから、やればできるという雰囲気

気となり、「積極的な」学習意欲に影響を及ぼしたと考えられる。

5日目は、タッチラグビーを題材に授業展開をした。高校までにあまり体験のしたことのない競技であったことから、学生に戸惑いがあった。その中で、理解し始めた学生が、戸惑っている学生には、あれこれと教え合ったりしていた。

表 5-3 授業雰囲気と学習意欲との関係

5 日目	積極性の学習意欲	客観性の学習意欲
友好的な雰囲気	0.4444	-0.25865
受容の雰囲気	0.1360	0.93604
満足させる雰囲気	-0.1389	-0.25354
熱烈な雰囲気	-1.2037 *	-0.19946
生産的な雰囲気	0.1876	-0.61746
暖かい雰囲気	-0.1087	-0.98632
協力的な雰囲気	0.2187	-0.27860
支持的な雰囲気	0.4726 *	0.82112
面白い雰囲気	-0.3382	0.16811
成功する雰囲気	1.0538 *	0.78992

* $p<0.05$

(4) 6 日目における授業雰囲気と学習意欲との関係

6 日目において、授業雰囲気における成功する雰囲気が学習意欲における「積極的」な学習意欲に影響を与えている (** $p<0.05$) ことが認められた。6 日目は、タッチラグビーを5 日目に続いて2 回目であった。2 回目ということからタッチラグビーがどのようなスポーツかを学生が理解し始めた。自分の思うようにゲーム展開ができるようになり、このことができる（成功する）という雰囲気が、学習意欲を積極的なものにしたと思われる。

表 5-4 授業雰囲気と学習意欲との関係

6 日目	積極性の学習意欲	客観性の学習意欲
友好的な雰囲気	0.4078	0.33432
受容の雰囲気	-0.1360	0.75793
満足させる雰囲気	0.2738	-0.38957
熱烈な雰囲気	-1.0771	-0.61857
生産的な雰囲気	0.1858	0.12737
暖かい雰囲気	0.2676	-0.15165
協力的な雰囲気	-0.1760	-0.47292
支持的な雰囲気	0.5335	-0.01143
面白い雰囲気	-0.2838	0.05436
成功する雰囲気	0.9287 *	0.54360

* $p<0.05$

(5) 7 日目における授業雰囲気と学習意欲との関係

7 日目において、授業雰囲気における友好的な雰囲気が学習意欲における「積極的」な学習意欲に影響を与えている (* $p<0.01$) ことが認められた。

サッカーを勝敗に関係なくプレーすることを楽しみ、チームワークを大切にしていた。このため、友好的な雰囲気が「積極的な」学習意欲に影響を及ぼしたと考えられる。

授業雰囲気における熱烈な雰囲気が学習意欲における「積極的」な学習意欲に影響を与えている（* $p<0.01$ ）ことが認められた。

冬学期になっての初めてのサッカーを教材に授業をおこなった。学生はサッカーを待ちに待ってようで、この気持ちが熱烈な雰囲気となり「積極的な」学習意欲に影響を及ぼしたと考えられる。

授業雰囲気における暖かい雰囲気が学習意欲における「積極的」な学習意欲に影響を与えている（* $p<0.05$ ）ことが認められた。

対戦相手に勝ちたいという雰囲気よりもサッカーを楽しみたいという暖かい雰囲気となり、「積極的な」学習意欲に影響を及ぼしたと考えられる。

授業雰囲気における面白い雰囲気が学習意欲における「積極的」な学習意欲に影響を与えている（* $p<0.05$ ）ことが認められた。

サッカーをプレーすることが面白いという雰囲気が「積極的な」学習意欲に影響を及ぼしたと考えられる。

7日目は、サッカーを教材にして授業展開を行った。人気の高いスポーツであることから、今回のこのような結果が導き出されたと考えられる。

表 5-5 授業雰囲気と学習意欲との関係

7 日目	積極性の学習意欲	客観性の学習意欲
友好的な雰囲気	1.2687 **	-0.21896
受容的雰囲気	0.4573	1.08400
満足させる雰囲気	-0.1302	-0.22384
熱烈な雰囲気	-1.8735 **	-0.30160
生産的な雰囲気	0.3600	-0.20322
暖かい雰囲気	0.8176 *	-0.49359
協力的な雰囲気	0.3103	-0.76626
支持的な雰囲気	-0.0353	0.65598
面白い雰囲気	-0.8608 *	0.37798
成功する雰囲気	0.3817	0.38719

** $p<0.01$ * $p<0.05$

(6) 9 日目における授業雰囲気と学習意欲との関係

9 日目において、授業雰囲気における成功する雰囲気が学習意欲における「積極的」な学習意欲に影響を与えている（* $p<0.01$ ）ことが認められた。9 日目は、冬学期 2 回目のサッカーを教材にして授業展開を行った。サッカーの 1 回目の時より、雰囲気が学習意欲に影響を与えることは無かったものの、成功する雰囲気が学習意欲における積極性の学習意欲に影響を与えていた。

何かしらうまくという雰囲気の前では、学習意欲が積極になることに影響を与えていることがわかる。この日に限っては、他の雰囲気が学習意欲に影響を与えることが少なかった。

表 5-6 授業雰囲気と学習意欲との関係

9 日目	積極性の学習意欲	客観性の学習意欲
友好的な雰囲気	0.4063	0.06692
受容的雰囲気	-0.0154	0.13807
満足させる雰囲気	0.0803	-0.15036
熱烈な雰囲気	-0.8562	-0.27785
生産的な雰囲気	0.2123	-0.25893
暖かい雰囲気	-0.2836	-0.49360
協力的な雰囲気	-0.2107	-0.49534
支持的な雰囲気	0.2221	0.59738
面白い雰囲気	-0.0144	0.17273
成功する雰囲気	1.2583 **	0.94993

**p<0.01

(7) 11日目における授業雰囲気と学習意欲との関係

11日目において、授業雰囲気における友好的な雰囲気が学習意欲における「積極的」な学習意欲に影響を与えている（*p<0.01）ことが認められた。

チーム内の団結力が高まっていた。このことが、友好的な雰囲気が、「積極的な」学習意欲に影響を及ぼしたと考えられる。

授業雰囲気における熱烈な雰囲気が学習意欲における「積極的」な学習意欲に影響を与えている（*p<0.05）ことが認められた。

二度目のバレーボールとバスケットボールの同時並行の授業内容であった。前回のバレーボールとバスケットボールの同時並行の授業を学生は気に入り、授業に参加していた。

学生の要求をある程度満たしたことから熱烈な雰囲気となり、「積極的な」学習意欲に影響を及ぼしたと考えられる。

授業雰囲気における生産的な雰囲気が学習意欲における「積極的」な学習意欲に影響を与えている（*p<0.01）ことが認められた。

どのチームでも対戦相手に勝つためには、どうすれば良いかを工夫していた。このため、自分のチームに有利に展開しようとする生産的な雰囲気が「積極的な」学習意欲に影響を及ぼしたと考えられる。

表 5-7 授業雰囲気と学習意欲との関係

11 日目	積極性の学習意欲	客観性の学習意欲
友好的な雰囲気	1.0860 **	0.08773
受容的雰囲気	0.1424	0.19144
満足させる雰囲気	-0.0125	-0.52510
熱烈な雰囲気	-1.8373 *	0.05060
生産的な雰囲気	0.6652 **	0.08124
暖かい雰囲気	0.6247	-0.34054
協力的な雰囲気	-0.3129	-0.24274
支持的な雰囲気	0.3378	0.19102
面白い雰囲気	-0.5867 **	-0.07041
成功する雰囲気	0.5617	0.48345

**p<0.01 *p<0.05

授業雰囲気における面白い雰囲気が学習意欲における「積極的」な学習意欲に影響を与えている（* $p<0.01$ ）ことが認められた。

バレーボールとバスケットボールの同時並行の授業を学生は気に入り、バレーボールやバスケットボールを楽しんでいたことから、面白い雰囲気が「積極的な」学習意欲に影響を及ぼしたと考えられる。

11日目は、バレーボールとバスケットボールを教材に授業展開をした。バレーボールとバスケットボールを同時に展開した授業は2回目だった。バレーボールとバスケットボールを授業展開するとほぼ全員が協力的に授業の準備からチーム編成を行っていた。

（8）12日目における授業雰囲気と学習意欲との関係

12日目において、授業雰囲気における成功する雰囲気が学習意欲における「積極的」な学習意欲に影響を与えている（* $p<0.01$ ）ことが認められた。12日目は、前回に引き続いて、バレーボールとバスケットボールを同時に展開した授業は3回目だった。

サッカーの時と同様に2度目になる成功する雰囲気が「積極的」な学習意欲に影響を与えていることから、2度目になるとある程度の自信がつき、やればできるという雰囲気が学習意欲を高める傾向がある。

表 5-8 授業雰囲気と学習意欲との関係

1 2 日目	積極性の学習意欲	客観性の学習意欲
友好的な雰囲気	0.2511	0.13107
受容的雰囲気	-0.3345	-0.11226
満足させる雰囲気	-0.3040	-0.38016
熱烈な雰囲気	-0.4888	-0.06230
生産的な雰囲気	0.2468	-0.15202
暖かい雰囲気	-0.1749	-0.42298
協力的な雰囲気	0.2719	0.00841
支持的な雰囲気	-0.0170	-0.00852
面白い雰囲気	-0.1702	-0.03504
成功する雰囲気	1.2787 **	1.09644

** $p<0.01$

Ⅳ. 考察

本研究の目的は、①体育授業の現状を集団雰囲気と学習意欲の観点から明にすること、②生涯に渡りスポーツを行うようにするための指標を探るとした。

1. 雰囲気

集団雰囲気（GA）尺度の平均点における推移をみると、2日目から14日目に全体的に右上がりになっている。授業を通して学習するにあたって、良い雰囲気になっていったと言える。

学習者属性にみた雰囲気得点の比較をみると、性別において冬学期の前半に、生産的な雰囲気が、ほぼ毎回の授業に有意差が認められたものの、後半では、有意差が認められなかった。冬学期の前半は、同じ教材内容であったが男女別に分けて展開したが、後半では、男女混合で

授業展開した。授業展開の仕方が主な原因であると思われる。

また、男子の平均値が女子の平均値より高くなったのは、男性の特徴である拡大性と女性の特徴である保守性が顕著になって現れた結果である。

運動することが好きか嫌いをみると、受容的な雰囲気、暖かい雰囲気、生産的な雰囲気には有意差が多く認められた。集団競技になると、一人の失敗がゲームの敗因になるケースが多々見受けられる。冬学期の授業を通して学生同士の批判をみることがなかった事から運動すること嫌いと答えた学生の思い込みによる結果ではないかと思われる。つまり、自分の失敗が他人から非難されているという思い込みによるものと考えられる。

また、運動することが嫌いと自覚していることから、向上心につながりにくく、生産的な雰囲気において、このような結果になったと思われる。

有意差が認められた雰囲気の数が学期を通して減少していることから、授業を通して運動嫌いが減少する傾向にあると言える。

体育授業が好きと嫌いをみると、満足させる雰囲気が冬学期の前半に有意差が認められた。後半では、有意差が認められなくなった。後半で、男女混合にして授業展開したことがこの結果になった一因ではないかと思われる。

また、後半に運動することが好きから嫌いと同様に因子別による有意差が認められた数が減少しているものの、生産的な雰囲気か成功する雰囲気において有意差が認められた。体育授業が嫌いと認識していることから、前向きに授業に参加できていないこととなる。

種目が好きか嫌いをみると、満足させる雰囲気がほぼ毎回の授業において有意差が認められた。授業そのものの自体に否定的に捉えていることが一因していると思われる。また、種目が好きか嫌いの因子別における有意差が認められた数をみると、一定の数が多少の増減していることにも今後着目すべき点である。

種目が得意か不得意かについては、冬学期を通して有意差が認められなかった。

部活に所属しているか無所属かについても、あまり、有意差が認められなかったことから、今回の授業において部活をしている事が、雰囲気あまり影響を与えない傾向があると言える。

私生活で運動しているかしていないかをみると、有意差が認められた雰囲気は、熱烈な雰囲気と生産的な雰囲気が少しあるが、今回の授業において私生活で運動しているかいないかが、雰囲気あまり影響を与えない傾向があると言える。

運動することが得意か不得意かについてみると、学期の後半に有意差が多く認められた。授業形態を男女混合にしたことが一因していると思われる。

2. 学習意欲

学習意欲尺度の平均点における推移をみると、2日目から14日目に全体的に横ばいになっている。積極性因子の得点を見ると4.4前後と高い値を保持していることから、高い学習意欲があったと言える。客観性因子得点をみると、学期の前半は起伏のある状態があるものの、後半になると右上がりになっている。このことから学習意欲が授業回数を重ねる度に向上していることがみてとれる。

学習者属性にみた学習意欲得点の比較をみると、性別において、冬学期を通してほぼ毎回到、積極的な学習意欲と客観的な学習意欲に有意差が認められた。男性、女性の特性が顕著になって現れた結果だと思われる。

運動することが好きか嫌いについてみてみると、ほぼ毎回到渡り客観性因子に有意差が認められた。運動が嫌いと思えた学生は、率先して授業に参加しているのではなく、周囲の状況に応じて行動している傾向がある。

体育授業が好きか嫌いについてみてみると、積極性の学習意欲に有意差が2度認められた。この2度も体育授業が嫌いと思えた学生の平均値が、体育授業が好きと思えた学生の平均値より高かった。授業自体が嫌いと思っても、自分にあった授業内容ならば、学習意欲が向上する傾向があると思われる。

種目が好きか嫌いについてみてみると、4日目において積極的な学習意欲に一度有意差が認められたのみで、後は認められなかったことから、今回の授業において種目が好きか嫌い、学習意欲はあまり影響を与えない傾向があると言える。

私生活で運動しているかしていないかについてみると、学期を通して、前半に積極的な学習意欲に有意差が認められることが多くあった。常日頃から運動に慣れ親しんでいることが、学習意欲に影響を与えていると考えられる。

運動することが得意か不得意についてみてみると、あまり有意差が認められなかったことから、今回の授業において運動することが得意か不得意は、学習意欲にあまり影響を与えない傾向があると言える。

得意種目があるかないかについてみてみると、あまり有意差が認められなかったことから、今回の授業において得意種目があるかないかは、学習意欲にあまり影響を与えない傾向があると言える。

3. 雰囲気と学習意欲との関係

授業の雰囲気が学習意欲に与えている影響があるものについてみてみると、成功する雰囲気が積極性の学習意欲に影響を与えていることが、冬学期を通して多々認められた。

このことから、できる（勝てる）という雰囲気のもとでは、学習意欲に積極性を増す傾向にあると言える。

また、熱烈な雰囲気においても、成功する雰囲気までとはいかないものの、学習意欲における積極性に影響を与えていることも判明した。

このことから、学生が授業に熱中できる環境を整えることが、学習意欲向上に繋がることを示唆された。

集団雰囲気（GA）尺度の平均値が右上がりになると同時に学習意欲の平均値も右上がりになっていたことから、授業雰囲気が学生にとって良いものとなりながら、学習意欲に良い影響を与え学習意欲も向上した状態で授業を終えることができた。

この状態を維持することができれば、最終教育機関から生涯スポーツに繋げていく一助なるものと考えられる。

まとめ

授業雰囲気の構造変化の検討から、運動に対して肯定的に捉えている学生と運動に対して否定的に捉えている学生、また、男子学生と女子学生であることに違いが無くなる傾向にあることがわかった。

授業を通して、運動が好きであろうが、嫌いであろうが同じ雰囲気を感じるようになると考えられる。また、男子学生と女子学生も同じく授業を通して、同じ雰囲気を感じるようになると考えられる。

因子得点が右上がり傾向になっていることから学生にとって、学習する上で適した環境になった。

学習意欲の構造変化の検討から、男子学生と女子学生に有意差があり、平均値において男子学生が女子学生より高かったことから、今回の授業では、男子学生の方が女子学生より学習意欲が高いと言える。

また、運動に対して好きと答えている学生と運動に対して嫌いと答えている学生との間に有意差がなくなる傾向があることから、運動が好きであろうが、嫌いであろうが授業を通して、同じような学習意欲になると考えられる。

因子得点では、横ばいであったものの僅かに右上がり傾向にある。出発点の段階で高い学習意欲を示していたことから、急激な右上がりにならなかった。しかし、僅かながらでも右上がりになったことから、学習意欲が向上したと言える。

授業雰囲気と学習意欲との関係では、授業雰囲気が学生にとって良いものであれば、学習意欲に良い影響を与えること傾向があることが見受けられた。体育において直接的な技術的指導は必要であることは言うまでもなく、間接的指導として学生の学習環境にも目を向けていく必要であることが示された。

なお、雰囲気調査に用いたGA尺度は、企業用に用いられたものであり、学習意欲調査に用いたものは、小学校、中学校、高等学校用に用いられたものを本研究に使用した。

今回は、ある一定の結果を導き出すことができたものの、雰囲気調査に用いたGA尺度の言葉を、調査目的の意味合いを失わない程度に授業用に言葉を変え、さらに学生が理解しやすい言葉を使って実施することが必要である。

学習意欲測定は、学習意欲の変化を見ることを目的としつつ、アンケートを記載するための労力をおさえた測定項目を研究していく必要がある。

引用参考文献

文部科学省 (2008) 「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善について」
文部科学省 (2001) 「大学・短期大学等の入学者数及び進学率の推移」「学校基本調査」(昭和25年以前については「文部省年報」)。

野中郁次郎「組織現象の理論と測定」(1978) 千倉書房

バーナード・ベレルソン、ガーリー・A・スタイナー著 犬田 充訳 (1968) 「行動科学」誠信書房

- D. S. ビュー・D. J. ヒックソン・C. R. ヒニングス著者 北野利信訳 (1974)「組織とは何か」評論社
- 加藤勝康・飯野春樹 (1987)「組織道徳と組織文化」バーナード 評論社
- 若林満・松原敏浩・城戸康彰・渡辺直登 (1988)「組織心理学」ナカニシヤ出版
- 岡部慶三・竹内郁郎・鮑戸弘 (1972)「社会心理学」新曜社
- 宇土正彦・八代勉・中村平 (1989)「体育経営管理学講義」大修館書店
- 八代勉・中村平「体育・スポーツ経営学講義」(2002) 大修館書店
- 塩原勉著「組織と運動の理論」(1976) 新曜社
- 後藤幸男・三木信一・中橋国蔵 (1994)「新経営管理論講義」中央経済社
- 梅本暁夫・大山正 (1992)「心理学への招待」サイエンス社
- 西田保 (1981)「スポーツにおける達成動機に因子分析的研究」体育学研究
- 西田保 (1978)「競技場面における運動パフォーマンスに及ぼす達成動機づけの影響」体育学研究
- 西田保 (1988)「体育における学習意欲検査 (AMPET) の標準化に関する研究」体育学研究
- 松田岩男・杉原隆 (1987) 新版「運動心理学入門」大修館書店
- 岡本夏木・清水御代明・村井潤一 (1995) 発達心理学辞典 ミネルヴァ書房
- 池辺晴美 (2010)「体育実技受講学生の体力・運動能力：2007年度から2009年度の体力・運動能力調査について」大成学院大学紀要
- 福地豊樹 (2010)「身体を考える体育実践の試み 第二報－トランポリン御実践事例を通して－」群馬大学教育実践研究
- 田中彰吾 小笠原慶太 (2010)「身体知の形成:ボールジャグリング学習過程の分析」人体科学
- 三木ひろみ 三波千穂美 (2010)「体育専攻大学生のキャリアプランニング教育：将来の進路に向けて行動化を促す総合演習の効果」筑波大学体育科学系紀要
- 宮崎明世 (2010)「筑波大学と附属学校との連携による保健体育科教育実習の在り方の検討：大学における事前指導および指導計画の作成法」筑波大学体育科学系紀要
- 荒牧亜衣 (2010)「教養教育としての大学体育」目白大学短期大学部研究紀要
- 水月晃 笠井妙美 西田明史 柿原一貴 則元志郎 (2009)「大学体育における知識・能力の形成 (3)：生涯スポーツ実践に向けた実験的授業」熊本大学教育学部紀要
- 山津幸司 堀内雅弘 (2010)「週1回の大学体育が日常の身体活動量およびメンタルヘルスに及ぼす影響」大学体育科学
- 荒井弘和 (2010)「大学体育授業に伴う一過性の感情が長期的な感情および運動セルフ・エフィカシーにもたらす効果」体育学研究